



# 光学技術者の起業

チームオプト株式会社  
代表取締役社長  
樋田博文

## 1. はじめに

私は約一年半前に光学技術コンサルティングを行うチームオプト株式会社を立ち上げ、多くの方々に支えられながらビジネスを開始した。本稿執筆を依頼された際は、私の経験や考えが皆様のお役に立てるか心配だったが、同じような立場の方には、多少なりとも参考になるのではと思い引き受けることにした。

私は本格的な会社経営を学んだわけでもなく、私の会社を運営する手法は経験に基づくものだが、肌で感じている光学業界の動向とあわせて紹介したい。

## 2. 会社設立の背景

私がチームオプト株式会社を立ち上げたのは、次世代のために自分に何ができるかを考えた結果である。いつだったか、人生の前半は「川下り」で、後半は「山登り」だという話を聞いた。人生の前半はどこに向かうかわからない川を、次々に身に降りかかるできごとや難所を何とかクリアしながら流れて行くようなもので、人生の後半は自分でどこに行きたいかをしっかり定めて登っていかねばならない山登りなのだ解釈していた。

私の場合は、タイミング的には少し遅かったが 50 歳台中盤になり、人生の後半戦でどこの山に登ろうかと考えた結果、日本の産業発展に少しでも貢献できればと思ったわけである。産業が盤石で日々の生活をしっかり暮らしていけることが平和にとっても非常に重要であろうと考えた。

では、日本の産業に貢献すると言っても、はたして自分に何ができるのか。そう自分自身を振り返ったとき、選択肢は一つだった。30 年以上にわたり取り組んできた光学技術、とりわけレンズに関わる技術と知識をもって、光学産業に寄与することである。そして、自分一人で取り組んだのではできないことに限りがあると考え、同志を集めて彼らと共に会社設立を志したのである。

## 3. 会社設立の準備

約 30 年間の光学メーカー勤務のち早期退職し、1 年間の期間を経て会社を設立した。無職の 1 年間は、多少アルバイトも行いながら、色々なことを勉強した。会社経営に関わるだけでなく、歴史、博物館学や気象学なども勉強した。歴史については、いわゆる日本史、世界史だけでなく、人類史、地球史、宇宙史にも興味がおよび、多くの気づきを得た。

勉強と並行して、同志への声掛けも行った。同志集めはスムーズに進み、声を掛けたほとんどの方が私に賛同してくれ、現在も弊社で活躍してくれている。いろいろな会合の後彼らと飲みに行き、皆の将来展望や日本の光学業界について話した。彼らは、会社や研究機関で大きな業績をあげ、金銭的なことよりもやりがいに価値を置く人達だった。

彼らが私に賛同してくれたのは、「自分達の一番得意なことで、世の中の役に立とう」、「次世代のためにも重要な日本の光学産業発展に貢献しよう」という考え方に共感してくれたからだと思っている。